

## 令和3年度補助金等評価表

## 1補助金の概要

補助金名称	旭川市生物多様性保全推進協議会負担金										
補助金の性格	団体への事業費補助					始期	H24		終期	-	
予算事業名	生物多様性保全費					(事業コード)		091102			
所管部署	環境部		環境総務課			環境保全係		電話番号	内線 5241		
交付先(団体,個人等)	旭川市生物多様性保全推進協議会										
交付目的	(対象) 誰,何に対して		旭川市生物多様性保全推進協議会								
	(意図) どういう状態にしたい		外来種による生態系への影響を抑制し,次世代に引き継ぐこととなる豊かな自然環境を保全する。								
対象事業等の内容	生物多様性の保全を目的としたアライグマ及びウチダザリガニ等の防除及び調査を行うほか,協議会を構成する市民団体と協働し,外来種対策について市民への周知・啓発を行う。										
積算方法	事業実施に必要な経費のうち,負担金交付の対象として承認した経費(予算の範囲内)。										
事業量指標と過去5年間の実績	① アライグマ捕獲(作業延べ日数) 単位:日					② ウチダザリガニ捕獲(作業延べ日数) 単位:日					
	H28	H29	H30	R01	R02	H28	H29	H30	R01	R02	
	7,338	5,795	4,645	8,787	11,146	624	766	526	766	439	
成果指標と過去5年間の実績	① アライグマ捕獲数 単位:頭					② ウチダザリガニ捕獲数 単位:匹					
	H28	H29	H30	R01	R02	H28	H29	H30	R01	R02	
	166	240	146	200	222	5,770	6,675	3,091	5,789	3,510	

## 2収支状況等

単位:千円

			平成29年度(決算)	平成30年度(決算)	令和元年度(決算)	令和2年度(決算)	令和3年度(予算)
補助対象事業等の収支状況	収入内訳	前年度繰越					
		市補助金	1,881	2,364	6,985	6,972	7,419
		協議会負担	1,704	300			
		その他					
	収入合計		3,585	2,664	6,985	6,972	7,419
	市補助率(%)		52.5%	88.7%	100.0%	100.0%	100.0%
	支出合計		3,585	2,664	6,985	6,972	7,419
うち食糧費,交際費							
市負担額	次年度繰越						
	一般財源		0	0	0	0	
	特定財源		1,881	2,364	6,985	6,972	7,419
	人件費	正職員	1.0	1.0	1.0	0.5	0.5
		人工金額	7,205	7,282	7,369	3,683	3,733
	臨時・嘱託/会計年度任用職員						
その他事務費							
合計		9,086	9,646	14,354	10,655	11,152	
受益対象者数		1	1	1	1	1	
補助金単位コスト(単位:円)		9,086,000	9,646,000	14,354,000	10,655,000	11,152,000	
適格性	共通事項	◆ 支出根拠が法令,条例,規則,要綱等に基づいている ◆ 支出目的,支出範囲が法令の規定に抵触しない					
	団体の運営,会計処理等	◆ 交付申請等が定めたとおりにになっている ◆ 会計処理が適正である ◆ 設立目的,事業内容等と補助目的との整合性がとれている ◆ 決算における繰越金(剰余金)が補助額から判断し,妥当である					
補助対象経費を確認できる書類等の提出を求め,補助事業の適正な履行確認及び会計処理を行い,総会において監査報告が行われている。							

※人件費(正職員分)は,平成29年度7,205千円,平成30年度7,282千円,令和元年度7,369千円,令和2年度7,366千円,令和3年度7,466千円で計算。

3個別項目に対する評価

項目	チェック項目等	評価	
1 補助金交付基準との適合性	(1)対象経費	◆ 事業費は調査, 研修, 懇親会等を対象外 ◇ 運営費は交際費, 慶弔費, 飲食費, 懇親会費等を対象外	■ 合致する
		◇ 例外的に食糧費等一定の上限額を設定し対象	□ 概ね合致する
		◇ 食糧費等, 原則対象外経費を補助対象	□ 合致しない
	(2)受益者負担	◇ 適正な負担を設定 ◇ 受益者負担額分を考慮(減額)し補助額を決定	□ 合致する
		◆ 上記以外	■ 合致しない
	(3)補助率の参考基準	◇ 団体 1/2以内 ◇ 個人 1/3以内 ◇ 個人等に対する利子補給 5%以内	□ 合致する
		◆ 上記以外	■ 合致しない
	(4)見直し期間(終期設定)	◇ 同一団体に対する補助, 4年を目途に見直し(外部機関に係る部分除く。) ◇ 奨励目的の補助, 終期を設定	□ 有(4年未満) □ 有(4年以上) □ 継続4年未満
		◆ 終期末設定で, 補助継続4年以上	□ 同一団体, 奨励目的補助ではない(対象外) ■ 同一団体補助だが, 見直し設定していない □ 奨励目的補助だが, 終期を設定していない
	(5)交付規程(支出根拠)	◆ 交付規程は制定済, 選択基準に合致, その他必要な規定は網羅	■ 合致する
		◇ 上記以外	□ 合致しない
	(6)支出を証する書類の添付	◆ 実績報告時, 支出証拠書類提出有 ◆ 額の確定時, 実地調査等(預金通帳や支出証拠書類原本, 帳簿等の確認)を実施	■ 合致する (※左欄2項目とも適合)
◇ 実績報告時, 書類大量で, 抽出確認や実地調査等で添付に替えている。		□ 概ね合致する	
◇ 書類は添付済だが, 実地調査は未実施(ただし, 不要な旨合理的な説明が可能なもの)		□ 合致しない	
◇ 上記以外		□ 合致しない	
2 公益性	(この補助金の公益性を, 具体的に記入する) 外来種の防除によって在来の生態系や生活環境の保全に寄与するため, 不特定多数の市民に直接・間接的に効果がある。	(左の内容を踏まえての評価) ■ 公益性が高い □ 公益性が高いとは言えない	
	(この補助金が必要である理由を, 具体的に記入する) 当該事業を行っている企業及び団体はない。	(左の内容を踏まえての評価) ■ 必要性が高い □ 必要性が高いとは言えない	
4 効果	(この補助金によってどのような効果があったのかを, 具体的に記入する) アライグマ, ウチダザリガ二ともに捕獲数実績が増加傾向である。	(左の内容を踏まえての評価) ■ 効果が高い □ 効果が高いとは言えない	
	「補助金交付基準との適合性」で合致しない理由について, 記載し説明すること。 1-(2),(3)本協議会は, 本市が主体となって効果的に外来種対策を行うために市民団体に働きかけ設立したもので, 設立の経緯として負担を求めるものではない。 1-(4)外来種対策は, 継続して行う必要があることから終期は設定していない。		

4平成28年度行政評価への対応状況等  
(行政評価)

補助金名称(当時)	
(1)行政評価の結果	理由, 改善, 見直しの方向
継続	-
(2)対応年度	具体的な内容と効果

(その他の見直し)

見直しの年度	具体的な内容と効果

5補助実施上の課題とその解決に向けた取組

課題	より効果的な外来種対策の構築
解決に向けた取組	協働で事業を実施している市民団体等と連携し, より効率的な捕獲体制や手法を検討していく。

6全体的評価

評価	結果	理由, 改善・見直しの方向
1次評価	継続	外来種対策は継続することが最も重要であるため, より一層効率的な事業の執行を目指すとともに, 継続的なモニタリング等を通じて生息分布の把握や防除効果の検証等に努めていく。
外部評価		
2次評価		

結果欄:継続(現行どおり), 見直し(金額や金額の増減以外の見直し), 終了(自然減を含む)

## 参考資料

### 1 補助金の名称

補助金名称	旭川市生物多様性保全推進協議会負担金
-------	--------------------

### 2 類似・関連事業の状況(旭川市・国・道・民間等)

事業名	鳥獣被害防止総合対策交付金(農水省)	実施主体	旭川市営農改善推進協議会(事務局:農政部農政課)
概要	旭川市営農改善推進協議会(鳥獣対策専門部会)が実施主体となり、農水省の交付金の活用を図り、アライグマ捕獲用罠の貸出、職員による捕獲個体の回収、安楽殺処理(上川中央農業共済組合への依頼)等の業務を行っている。		
上記事業との統合の可能性(市単独事業の場合)		<input type="checkbox"/> ある	<input checked="" type="checkbox"/> ない
説明	環境部事業(生態系保全)と農政部事業(農業被害防止)とでは直接的な目的が異なっており、農政部は、農水省の交付金を得て事業を実施している。 全市的なアライグマ対策を単一事業に統合した場合、市としては農水省からの交付金を受けることが困難となり、歳入の減少と事業効果の減少が同時に生じることが懸念される。 なお、令和元年度から、運搬、殺処分の共通する業務は業務委託を一本化して一部効率化を図っている。		

### 3 他市の実施状況

市の名称	事業内容・積算・対象者など
横須賀市 (中核市)	事業内容 特定外来生物(アライグマ、タイワンリス)の捕獲, 生物多様性保全への市民参画 総事業費 3,600千円(横須賀市負担金1,800千円, 環境省交付金1,800千円) アライグマ捕獲に係る経費 1,726千円 アライグマ捕獲実績 13頭
	※道内主要都市における類似事業なし。 ※中核市では横須賀市のみ。

注: 他の中核市や道内主要都市における類似事業について、その内容をできるだけ2つ以上記入すること。別紙による添付可。